

# 産学連携の成果披露

—IT技術者  
育成で先端大

生駒市高山町の奈良先端

共催。

科学技術大学院大学は十一日、同大学内の先端科学技術研究調査センターで、第十七回NAIST産学連携フォーラム「産学連携によるIT人材育成」を開催した。この中で、同大学情報科学研究科の三教授が、産学連携で進める、三種の先進的なIT研究者育成プログラムを紹介した。研究者や企業関係者ら約六十人が出席した。

同フォーラムは、同大学で生まれた研究成果を企業側に披露する場で、産学研究者の交流が目的。年三回、各研究科ごとに開いている。同大学、関西経済連合会、同大学支援財団による

三種のプログラムはすべて国の支援事業に採択され

おり、それぞれ、ソフトウェア、情報セキュリティ、ロボット分野を将来的にけん引できる技術者の育成が狙い。いずれの分野も、国内トップレベルのIT研究者を有する大学や企業と連携し、実践的な教育カリキュラムを整備する。ソフトウェア分野のプログラムはすでに始まっており、残り二分野は来年四月から本格的にスタートする。

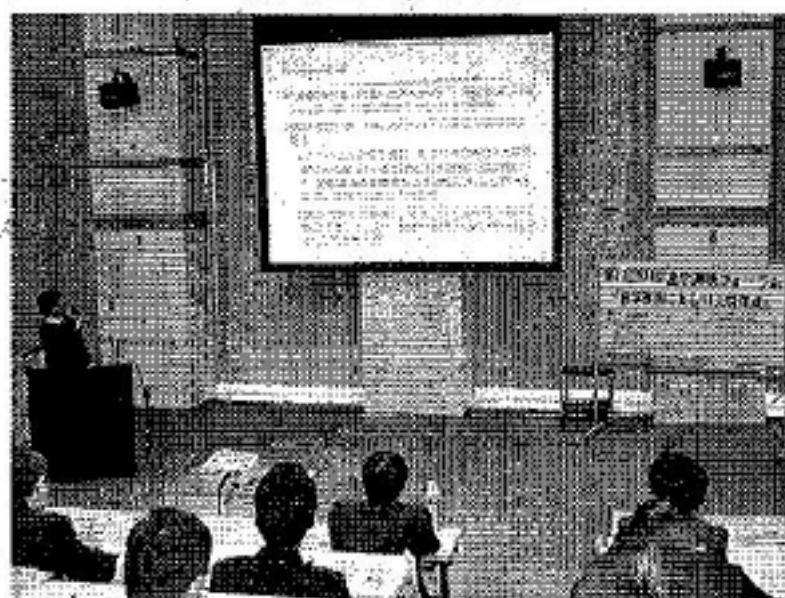
対象の主体は大学院生だが、条件によっては社会人も受け入れる。履修期間は各一年。履修後の発展的なコースも準備する。プログ

ラム修了者には認定証を付与する。

フォーラムの講演で、情報セキュリティ技術者の育成プログラムを担当する砂原秀樹教授は、育成する

人材のイメージや教育体系について解説。「多角的・総合的能力を有し、経験に基づき勘を備えた実践型の人材を育てる」と目標を語った。

講演の後、参加者は学内を見学、交流会では互いに情報交換した。



先進的なIT研究者育成プログラムを紹介する講演者—11日、生駒市高山町の奈良先端科学技術大学院大学・先端科学技術研究調査センター